

令和2年度幼児教育指導者養成研修（NITS オンライン研修）実施要項

1 目的

子ども・子育て支援新制度の施行を踏まえ、質の高い幼児教育を全国の全ての子供に保障するため、幼児教育を担当する指導主事等に対し、幼児教育の指導の充実、評価を含めたカリキュラム・マネジメントの適正な実施など、幼児教育の指導者として必要な知識等を習得させ、各学校（園）や地域における本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者の養成を図る。

本研修では、習得した内容を踏まえ、各地域における研修講師等として、1）各学校（園）や地域において質の高い幼児教育を推進する力、2）各学校（園）や地域の教職員の専門性向上を推進する人材育成・研修推進力、を発揮できる指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 受講期間等 ※期間及び期限は全て令和2年度

受講者は、以下①～⑤の中から受講可能な期間を第2希望まで選択し、推薦者に報告する。

受講期間（選択制）	推薦期限
① 11月10日（火）～11月12日（木）	10月12日（月）
② 11月17日（火）～11月19日（木）	
③ 12月1日（火）～12月3日（木）	
④ 12月8日（火）～12月10日（木）	
⑤ 12月15日（火）～12月17日（木）	

※ 視聴可能期間については、受講期間の前後1週間程度を予定しており、システム上はこの期間内のいつでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

5 実施方法 インターネットでオンライン研修を視聴する。（同時双方向通信は行わない）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市の幼児教育担当指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準ずる者（認定こども園、保育所の指導・助言を行う者を含む）
- ② 国公私立幼稚園・保育所・認定こども園の教職員であって、各学校（園）や地域における本研修の内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生（教職経験のある者に限る）

※ 「第4次男女共同参画基本計画」（平成27年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦手続

推薦期限は、令和2年10月12日(月)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会については、域内の教育委員会や、私立学校担当部局、保育所・認定こども園担当部局等と協議の上、推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(3) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。本研修はすべてオンラインで実施するため、定員に制限は設けないが、各受講期間における人数比の調整のため、第2希望で受講決定をする場合がある。

8 研修内容

日程表は「別紙1」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

9 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

10 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校（園）や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

（受講者が研修終了後に研修成果を活用して行うことの例）

- 研修や勉強会などを企画・立案すること
- 研修や勉強会などを実施し、課題を把握すること
- 会議などで研修成果を発表すること
- 研修会に講師や指導助言者として参加すること
- 地域の幼稚園等を訪問し指導助言すること

11 その他

- (1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

- (2) 本研修は、非集合型のオンライン研修であり、学習管理システム「学びばこ」((株)テクノカルチャー)を利用して研修を配信するものである。「学びばこ」はソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、スマートフォン等の端末からも視聴でき、システム上はどこからでも視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

令和2年度幼児教育指導者養成研修(NITSオンライン研修) 日程表

9:00		16:00						
(火)	開講にあたって	文部科学省講話	(第1講) 講義	リフレクション	昼 休 憩	(第2講) 講義	リフレクション	
			幼児教育の重要性と現状			幼児教育を推進するための体制整備に向けた自治体の取組事例と幼稚園再開後の工夫と課題		
(水)	(第3講) 講義		リフレクション	昼 休 憩	(第4講) 講義		リフレクション	
	外国人幼児や障害のある幼児等の受入れに当たっての体制整備と配慮事項				「指導計画の作成と保育の展開」の基本的な考え方と取組の実際			
(木)	(第5講) 講義		リフレクション	昼 休 憩	(第6講) 講義		リフレクション	
	幼稚園における「実効性ある学校評価」の手法				幼児の実態や家庭・地域の実態等を踏まえた園の研修の企画立案について			閉講にあたって

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人またはグループ演習の時間です。

※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講して下さい。